

## 教育研究グループ「研究結果」報告書

報告日 平成31年4月26日

グループ名	作業学習研究グループ	フリガナ 代表者氏名	イノウエ ミホ 井上 美保
学校名 (代表者)	東京都立八王子特別支援学校 (校長 井上 美保)	電話番号	042-621-5500
研究テーマ	企業との連携による作業製品販売の仕組みづくりの研究		
研究期間	平成30年4月10日から平成31年3月20日まで		
研究結果 の概要 ※詳細は別 紙により 報告	<p>1 福祉就労を目指す作業班に関して</p> <p>主に皿や布製品、メモ帳などの物作りを行い、ライン工程を整え、分担を決めて作業を行う仕組みができた。生徒たちで作業製品の販売や管理が行えるように、7月に流通班（企業就労を目指す）の生徒が、JFE商事サービス株式会社で、流通の仕組みについて研修を実施して、実際の販売や製品管理の知識を学ぶことができた。その研修の内容を、ビースマイルカフェの販売活動に生かすことができた。1月には、JFE商事サービス株式会社で福祉就労を目指す作業班のリーダーの生徒が販売補助を経験することができた。学校では経験できないような作業製品の数を売り上げることができ、生徒たちから達成感を味わうことができたと感想があった。</p> <p>2 地域の方への喫茶サービスに関して</p> <p>喫茶班のコーヒーサービスと同時に、作業製品を流通班が販売をしているが、販売までの流れ、各作業班へ販売する製品の個数や品物を確認することができた。また、販売練習を行い、本番の販売に向けて、タブレット端末のアプリを活用したレジを生徒だけで行うことができるようになった。売れた個数や金額、作業製品がデータとして残るので、売り上げの確認や作業製品の管理も生徒だけで行うことができるようになった。</p> <p>3 寄宿舎を活用したビースマイルカフェに関して</p> <p>年度当初は、コーヒーと食品加工班のクッキーをお客様へ販売でき、7月頃からお皿や箸置き、巾着袋などの作業製品を販売することができた。ビースマイルカフェへ来店する客の数も少しずつ増えてきた。今後、来店する客を増やすことで、作業製品の売り上げの向上につながるので、広報活動を検討していく予定。</p>		
その他 特記事項			

## <別紙資料>

### 1 福祉就労を目指す作業班に関して

#### 企業での作業製品販売



福祉就労を目指す作業班で制作したトートバック、皿、クッキーなどを企業で販売をして、企業の方に購入をしてもらいました。購入して頂いた企業の方から、作業製品や生徒の接客態度についてアンケートで書いてもらい、生徒へフィードバックすることができました。他にも、コーヒーサービスや社内清掃も生徒で行い、普段の学習の成果を発揮することができました。企業の方への理解啓発にもつながった実践でした。

### 2 地域の方への喫茶サービスに関して

喫茶サービスを校内や校外で行うと同時に作業製品の販売をしています。その際に、生徒だけで販売ができるようにレジの工夫を行いました。その支援具として、タブレット端末を活用しています。タブレット端末の操作方法は、手順書で覚えることができました。売れた個数や金額、作業製品のデータとして残るので、売り上げの確認や作業製品の管理も生徒だけで行うことができるようになりました。

#### タブレット端末のレジ



### 3 寄宿舍を活用したビースマイルカフェに関して

#### ビースマイルカフェ



八王子盲学校の寄宿舍を活用して、地域に向けて喫茶店ビースマイルカフェをオープンしました。オープン当初は、コーヒーとクッキーをお客様へ販売して、7月頃から作業製品を販売することで、地域の方にも作業製品を購入して頂くことができました。今後は、ビースマイルカフェを知ってもらうための広報活動や作業製品を購入してもらうための作業製品開発が必要です。